



通信

HP 学校だより
R5.1.17
NO.35
文責 伊藤美佳



凜とした静けさの中で

1時間目に校内巡視をしていると、物音1つしません。いつもなら元気な声がそこここから聞こえてくる校舎内が、凜とした静寂に包まれていました。

これは、書き初め会の様子です。どの学年の子も、自分の書く字と向き合い、丁寧に書き進めていました。その顔は真剣そのものです。いつもと違う「書く」時間を大切にしていることがうれしかったです。何かに集中しているときの顔、本当に「いい顔」です。豊坂小学校では、「あこがれ」の「が」を「がむしゃら」として熱中して何かに向かう姿はあこがれの対象であると伝えていきます。「がむしゃら」はこうした「静」の中にもあることを子どもたちから教えてもらいました。

力作ぞろいの書き初め会作品を廊下に展示しています。保護者の皆様にご覧いただきたいので、2月の授業参観で再度展示いたします。また、各学級代表に選ばれた作品は、幸田町立図書館ギャラリーで町内の他の小中学校の代表とともに1月18日（水）～24日（火）まで展示されています。ぜひご覧ください。



応援いっぱいの縄跳び練習

上の記事とは真逆で、運動場からは大きな声が聞こえてきます。この季節の豊坂小は「縄跳び」のジャンパーでいっぱいになります。1年生も、短縄跳びでも、長縄跳びでもどんどんチャレンジしています。中には、すごい猛者がいて、二重跳びどころか三重跳び、ハヤブサ…等々、とてもまねできない技を習得し、更なる上達を目指して練習に励んでいます。

できる子があこがれの存在となって見本を見せてくれたり、教えてくれたりしてくれることで、縄跳びを楽しく挑戦している子が増えていくことを期待します。

六栗西山森の道整備のお手伝い&モルック

4年生が13日（金）に六栗西山森の道整備のお手伝いに出かけました。

まずは、木に名札をつける作業を行いました。名札にはQRコードがついていて、検索することができます。初めて聞く名前もあり、勉強になりました。今までは、竹藪の中であまり光が当たらない厳しい環境で育っていた木々が、里山を整備してもらったおかげで生き生きとしているように感じました。

次に、楽しみにしていた「モルック」というフィンランド発祥の遊びをしました。木の棒で木を倒すというシンプルな遊びですが、木の棒を投げることで思う所になかなかたり、点数を50点ちょうどにしないと25点まで下げられるというペナルティーつきだったり白熱した戦いを繰り広げていました。終わりの時間になっても、「もっとやりたい。」と訴える子どもたちが多く、とても楽しかったことがわかりました。

子どもたちも整備のお手伝いをしている六栗西山森の道へ、ご家族でぜひお越しください。